

2025 トヨタジュニアゴルフワールドカップ第1日

6月24日（火）：中京ゴルフ倶楽部石野コース（愛知県豊田市）

生憎の雨の中、開幕したジュニアゴルフの祭典。

小雨や霧雨が入り混じる気まぐれな梅雨空の下、新地真美夏が8アンダーパー、64のビッグスコアをマークした。昨年の個人女王、ジャスミン・クーと並んで1ラウンドでの大会ベスト。個人で3打差、団体では2位に5打差のリードと、2冠に向けて大きなアドバンテージを奪うことに成功した。

「こんなに良いスコアが出るとは思っていませんでしたが、このコースは私に合っていると思います」。チームメイトの岩永杏奈と長澤愛羅も70ストローク6位タイに名を連ね、2年ぶりのホスト国優勝に向けて明るい兆しが見えている。

昨年、準優勝のタイはクリチャンヤ・カオパッタナスクルが67のチームベスト。「雨は悪いことがたくさん頭をよぎるけど、深く考えずに自分のショットに集中した」。トヨタジュニア2回目の出場となるチームメイトのピンピサ・ルブロンとプリム・プラクナコーンを上回り、チームを引っ張った。

男子は出場12チーム中、トップ5が4打差にひしめく混戦模様。日本男子チームは初出場の長崎大星が67、個人戦ディフェンディング・チャンピオンの松山茉生と長崎煌心が68で全員がトップ10入り。首位フランスを3打差で追いかける。

2017年以来の出場となるフランスは132ストロークでトップに。これは3人中上位2人のスコアを採用する現行ルールとなってからのベストスコアだ。7バーディーを奪ったトム・デ・エリイポンは「私たちは素晴らしいチーム」と記録の更新に胸を張る。同僚、アーサー・カーリエも同じく66で並び首位奪取の原動力となった。

また、イングランドのマティルデ・サンティエリが4番ホールでホールインワンを達成。154ヤードを7番アイアンで放ったショットは「少し左に行ったと思ったけど、ホールの10センチくらい手前で曲がって。入ったかどうか分からなかったけど夢中になった！」と自身初のエースに興奮冷めやらぬ様子で語った。

予選を含め、世界70か国以上の頂点を決めるトヨタジュニアゴルフワールドカップ。頂点に立つのはどの国か。梅雨空を吹き飛ばすほどのジュニアゴルファーの熱い戦いに注目したい。